

日本物理学会領域 2 運営会議 議事録案

日時：2023 年 9 月 17 日(木) 12:15–13:00

場所：A307 会場

司会：領域 2 代表 藤堂，参加者：約 30 名，書記：四竈

報告・議論事項

- 1) 2023 年 10 月からの役員体制・役割分担
- 2) 2024 年 4 月からの領域代表，領域副代表の推薦
- 3) 2023 年春季大会 学生優秀発表賞に関する報告
- 4) 米沢富美子記念賞 授賞候補者の募集について
- 5) 2024 年春季大会シンポジウム・招待講演等の提案
- 6) 領域委員会報告
- 7) 領域 2 での確認事項と議題
- 8) 講演件数の推移
- 9) 講演概要集提出率
- 10) その他

報告・議事内容

- 1) 2023 年 10 月からの役員体制・役割分担
以下の役員体制とすることが承認された。
領域代表 藤堂 泰 (核融合研)
領域副代表 長崎 百伸 (京都大学)
運営委員 (佐々木，三瓶，菊池，徳澤，松山，安部)，役員 (藪内，四竈，齋藤)

2024 年 10 月からの次期役員の候補 年内まで立候補待ち (領域代表まで連絡)
2024 年春季大会運営会議で審議
- 2) 2024 年 4 月からの領域代表，副代表の推薦
以下の推薦者について承認された。
次期領域代表 長崎 百伸 (京都大学)
次期領域副代表 比村 治彦 (京都工芸繊維大学)
10/23 (月) までに推薦フォーム入力，11 月の領域委員会で承認予定。
- 3) 2023 年春季大会学生優秀発表賞に関する報告
応募者 29 名の中から，以下 5 名を選出。なお，2021 年秋季大会から受賞回数の上限

が 2 回までとされた。

- 吉野 舜太郎 氏 (東北大院情報)
「特殊相対論的プラズマの拡張 MHD 近似の妥当性検証」
- Zechen Lan 氏 (阪大レーザー研)
「High-speed Atomic Thermometer using Single Shot of Laser-driven Neutron Pulse」
- 韋 添允 氏 (阪大レーザー研)
「The experiment demonstration of quasi-mono energetic deuteron acceleration by in-direct laser shot」
- 矢ヶ崎 誇楠 氏 (名大院工)
「NUMBER の再結合プラズマ生成実験における高励起準位からの発光の観測」
- Joseph John Simons 氏 (SOKENDAI)
「Utilization of Collisional-Radiative model to analyze Doppler-free spectra」

4) 米沢富美子記念賞 授賞候補者の募集について

領域 2 の締切：2023 年 10 月 20 日 (金)

提出先：領域副代表 長崎

5) 2024 年春季大会シンポジウム・招待講演等の提案

企画講演 (0 件), 招待講演 (0 件), 若手奨励賞受賞記念講演 (最大 2 件), シンポジウム (0 件).

提案者は, 10/20 (金) までに役員会へ案を提出する.

学会の公募受付は 10 月下旬~11 月上旬.

企画セッション

「メタ視点から探る階層ダイナミクスの新展開」(略称 メタ階層ダイナミクス)

提案者：小林 進二, 加藤 雄人, 後藤 基志

期間：2024 年春季大会より 4 回 (申請によりさらに 4 回の延長が可能)

企画セッションは他領域との合同も可能である.

小林氏から内容が説明された。以下の意見が出され、これらを検討した上で開催することが承認された：募集・周知方法を検討した方がよい (NIFS ホームページ, 複数の学会メーリングリスト等を利用して広い分野の人に周知する)。NIFS ユニット名をそのままセッション略称にするのは適当で無いように思われる。「メタ」の表す内容を明確にしたほうがよい。実験・理論・シミュレーションのバランスを考えてほしい。

- 6) 領域委員会（2023年5月29日）の報告
新領域「計算物理」について
渡邊氏から経緯が補足説明され、3年間の試行について承認された。
領域2の意見を11月の領域委員会までに集約する。以下の意見が出された：領域2の講演数は減少する可能性があるが、学会全体での参加者が増える効果を期待したい。合同セッションにする際には、複数の領域の人が参加する仕組み作りが必要ではないか。
- 7) 領域2での確認事項
以下の事項について確認した。
○ Plasma メーリングリストの運用
○ 学生優秀発表賞
受賞回数を2回に制限することを周知するため、登壇申込みフォームに注意書きを追記する。領域2独自の規則であり他領域での受賞には影響しない。
○ シンポジウム、招待講演
○ シンポジウム等での online 登壇
- 8) 講演数の推移
95件
企画セッションが始まれば増える可能性がある。シンポジウムの開催など、講演数増加の対応を検討したい。
- 9) 概要集提出率
概要提出率は 91/95 (95.7%)
他領域と比較して特に問題ない。
- 10) その他
懇親会
日時：9月17日（日）18:30～
会場：仙台キッチン（仙台駅東口）

以上